

## 平成29年度 後期 保護者アンケート 平成29年1月実施

児童数262人、回収数262枚、回収率100%

### NO.1 考えて表現できる子どもに育ってきている <考察・改善点>

項目	A	B	C	D	合計
割合(%)	17%	70%	12%	1%	100%
前期	18%	70%	12%	0%	100%

AとBを合わせると87%である。授業の中で、自分の考えをもち表現する力を伸ばそうと取り組んでいるが、十分とは言えない。指導者の講義になるのではなく、子どもたちの考え方をつなぎ学びが深まっていくような授業を目指して、教材研究を進めたい。

### NO.2 友達や命あるものに思いやりの気持ちをもって接している

項目	A	B	C	D	合計
割合(%)	35%	61%	4%	0%	100%
前期	25%	71%	4%	0%	100%

AとBを合わせると96%である。縦割り活動や委員会活動、学校行事や部活動などを通して、お互いを思いやり活動できるように取り組んできた。学級においても学級目標を意識し、一人一人を大切にした学級経営を心がけてきた。来年度も、新しい仲間とより良い関係を築くことができるよう支援を進めていきたい。

### NO.3. 自分のめあてをもってがんばろうとしている

項目	A	B	C	D	合計
割合(%)	25%	57%	17%	1%	100%
前期	20%	63%	16%	1%	100%

AとBを合わせると82%である。18%の子どもがめあてをもってがんばろうという意欲が持ちにくいうようだ。少し頑張れば達成できそうなめあてを設定し、やりきることで、できたという達成感をもつ経験を積み重ねていきたい。そのための声かけ・支援を充実させていきたい。

### NO.4 楽しく学校生活を送っている

項目	A	B	C	D	合計
割合(%)	59%	38%	3%	0%	100%
前期	54%	43%	3%	0%	100%

A・Bを合わせて97%を占めた。大半の子どもは学級の中で自分の居場所を感じ楽しく学校生活を送っている。一日の半分以上を過ごす学校がすべての子どもにとって楽しい場所であるよう、子どもの思いに耳を傾け、励まし、教職員全体で見守っていきたい。

### NO.5 すすんで挨拶している

項目	A	B	C	D	合計
割合(%)	18%	59%	22%	1%	100%
前期	21%	51%	25%	2%	100%

A・B合わせた割合は77%で、前期より5%上昇した。しかし、まだ元気がなく、自分から先に挨拶ができる子どもは少ない。挨拶運動を継続して行い、挨拶の大切さやどのような挨拶が良いのかを繰り返し指導し、家庭・学校・地域が連携して、自分から進んで気もちのよい挨拶ができる子どもに育てたい。

### NO.6. 意欲的に学習し、基礎・基本の学力を身に付けてきている

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	19%	61%	18%	2%	100%
前期	24%	58%	16%	2%	100%

A・B合わせて80%であり、子どもたちはおおむね基礎・基本の力を身に付けていると感じられている。しかし、20%の保護者は基礎・基本の力が身についていないと感じられている。個々の子どもの実態をきちんととらえ、繰り返し練習したり定期的に復習したりして、定着させていきたい。

### NO.7. 授業が、わかりやすいと言っている

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	27%	61%	10%	2%	100%
前期	24%	67%	8%	1%	100%

A・B合わせて88%となり、前期より3%下がった。後期になり、学習内容が難しくなってきてることが理由として考えられる。子どものつまずきを予想し、学習展開・支援を工夫することでどの子も分かる授業づくりに取り組んでいきたい。

### N08. 早寝・早起き・朝ごはんなど、基本的な生活習慣を身に付けている

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	27%	55%	17%	1%	100%
前期	28%	58%	13%	1%	100%

A・B合わせて82%である。保護者の意識が高く、寒い時期にも規則正しい生活習慣を守ることができた。インフルエンザの流行もあったが、最小限に抑え、健康に過ごせている子どもが多い。

### N09. 家庭学習や読書など、自ら進んで取り組んでいる

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	18%	50%	28%	4%	100%
前期	23%	45%	29%	3%	100%

A・B合わせて68%である。家庭学習の習慣付けは、学力定着にとって重要な役割を果たす。自ら進んで取り組めるよう、学習の進め方を細かく指導し、励ましの声かけを続けていきたい。ご家庭でも声かけを行い、家庭学習や読書が習慣づくようにご協力を願いたい。

### N010. 学校だよりや学級だよりなどのお便りはよく読んでいる

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	22%	55%	20%	3%	100%
前期	24%	55%	19%	2%	100%

A・B合わせて77%で、ほとんどの家庭が、子どもたちの学校での様子を知るために、学校や学級からのお知らせを読んでくださっている。しかし、あまり読んでおられない家庭も見られる。おたよりは大切な情報を知らせるためのものである。忙しい中だが目を通し、学校の様子、学級の様子を知っていただきたい。

### N011. 学校は、積極的に学校情報を発信している。(学校・学級だより、ホームページ等)

	A	B	C	D	合計
割合(%)	44%	55%	1%	0%	100%
前期	44%	55%	1%	0%	100%

A・B合わせて99%である。多くの方がホームページを見て学校の様子を気にかけてくださっている。学級だよりも楽しみにしてくださっているご家庭も多い。今後も、学校行事や学習の様子を積極的にお知らせしていきたい。

### N012. 学校は保護者・地域と交流を深め「開かれた学校づくり」を進めている

	A	B	C	D	合計
割合(%)	39%	60%	1%	0%	100%
前期	36%	61%	2%	1%	100%

A・B合わせて99%である。学校で行われる地域行事に積極的に参加する子ども・保護者が多い。また地域の方も運動会や図工展などに参観をしてくださっている。今後も交流を深めていきたい。

### N013. 学校は、「子どもの安全」

	A	B	C	D	合計
割合(%)	31%	64%	5%	0%	100%
前期	28%	68%	4%	0%	100%

#### のための取組を進めている

A・B合わせて95%である。登下校の安全についてはPTA子ども見守り隊や交通安全会、上京警察署と連携し、取組を進めている。不審者情報についてもメール配信を行うとともに子どもたちに指導、パトロールを行っている。緊急時にどのような対応をするのかについても子どもたち、教職員それぞれ訓練、話し合いを行い安全な学校生活が送れるよう引き続き取組を進めていきたい。

### NO14. 学校は、一人一人の子どもも大切にした教育を進めている

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	33%	62%	5%	0%	100%
前期	28%	69%	2%	1%	100%

AとBのポイントを合わせると95%になり、おおむね一人一人を大切にした教育を評価していただいているが、大切にされていないと感じている方もおられる。思いを十分受けとめ、担任だけでなく教職員みんなで子どもを見守り、安心して学べる学校にしていく。

### NO15. 学校の施設・設備が整備されてきている

学年	A	B	C	D	合計
割合(%)	22%	70%	8%	0%	100%
前期	15%	75%	8%	2%	100%

A・B合わせると92%である。今年度は、プールの改裝工事、音楽室のカーテンのつけ替え、児童玄関の電気の総入れ替えなどに取り組むことができた。

来年度も、予算の範囲内ではあるが、設備の修理修繕に努めていきたい。校内の備品の故障などにも、迅速に対応していきたい。

|

|

|

|

|

|

|